

令和6年2月1日会議概要

第1 日時

令和6年2月1日（木）午前9時20分から午後0時31分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、池坊委員、森委員、森田委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 令和5年中の広聴事案受理状況について

総務部長から、令和5年中に取り扱った広聴事案について、受理件数や内容等の報告があり、今後も引き続き適切な職務執行、丁寧な府民応接に努めていく旨、説明があった。

委員から、「府民から感謝・激励が寄せられた事例を見ると、各種教室の開催に関する件数が最も多い。このような日常の地道な活動が、府民に警察を理解してもらうための原動力の一つとなっているということを警察内部においても積極的に周知をしていただきたい。」旨、発言があった。

(2) 令和6年度府費警察費当初予算案の概要について

総務部長から、令和6年度における府費警察費当初予算案の概要について報告があり、主な事業として、特殊詐欺等総合対策事業や警察行政サービス・デジタルイズ事業、警察署の建設計画費や整備費等について説明があった。

(3) 組織・職の新設等に関する京都府知事との協議について

警務部長から、令和6年春の組織・職の新設等について説明があり、審議の上京都府知事との協議を了承した。

(4) 伏見区桃山町における放火殺人事件被害者公判支援結果について

警務部長から、伏見区桃山町における放火殺人事件に関し、令和5年9月から令和6年1月まで23回にわたって行われた公判について、被害者等の公判支援を行った旨、報告があった。裁判所までの送迎のほか、裁判所出入り時の遮蔽措置、開廷中の体調不良者等へのケア等を行ったもので、今後も被害者等の状況に応じ、警察の臨床心理士によるカウンセリングや関係機関への紹介等、きめ細かな支援を継続して行っていく旨、説明があった。

(5) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（無許可営業・名義貸し）等事件の検挙について

刑事部長から、京都府公安委員会の許可を受けず高級クラブ店を経営したとして、当時39歳の甲男ほか1名を、また、同店の風俗営業許可の名義を甲男等に貸し、風俗営業を営ませたとして、当時37歳の乙男をそれぞれ風俗適正化法違反で検挙するとともに、甲男等が無許可営業により得た犯罪収益である売上金約4億円について乙男の口座に入金し、そ

の帰属を仮装するなどした組織的犯罪処罰法違反についても同人らを検挙した旨、報告があった。

こうしたマネー・ローンダリングに関する犯罪には、『匿名・流動型犯罪グループ』が関与していることも多く、今後も積極的に検挙するとともに犯罪収益を剥奪することにより、組織犯罪の撲滅に向けて取り組んでいく旨、説明があった。

委員から、「匿名・流動型犯罪グループに関する捜査は、金の流れを封じることが必要だと聞いた。今後もよろしく願います。」旨、発言があった。

(6) 令和5年中におけるサイバー犯罪情勢について（暫定値）

サイバーセンター長から、令和5年中におけるサイバー犯罪情勢について報告があり、相談件数は3年連続で5,000件を超え高止まりの状態であるほか、相談内容の3分の1が、ネットショッピングや架空請求に係る詐欺・悪質商法に関するものであること、また、被害としてはインターネットバンキングの不正送金被害が、件数、金額共に急増していることについて説明があった。

一方、検挙状況としては、昨年より件数が増加している中、不正アクセスに関する罪等高度な技術を悪用した犯罪の捜査に取り組み、成果があった旨、説明があった。

(7) 3府県警察合同によるサイバーセキュリティイベントの実施について

サイバーセンター長から、『サイバーセキュリティ月間』中の2月12日に、滋賀県、京都府、奈良県3府県警察合同によるサイバーセキュリティイベントを実施する旨、報告があった。

当日は、情報通信部の協力を得て、2会場においてサイバー攻撃デモンストレーションを行い、実際にウィルスに感染した状態を来場者に体験させるほか、サイバー防犯ボランティアとの協働活動による啓発活動、サポート詐欺の被害体験やメタバースの体験等を行い、サイバーセキュリティに対する理解を促進する取組を行う旨、説明があった。

(8) 令和5年中における機動警察通信隊の活動状況について

情報通信部長から、警察活動遂行のための通信確保を任務とする機動警察通信隊の令和5年中における活動状況について報告があり、最近では、警察の情報通信インフラを守る危機管理部隊としての活動のほか、警衛警護警備、災害現場における現場映像伝送等、警戒の空白を埋めるツールとしての重要性が増し、任務の大きなウエイトを占めてきているため、練度向上に向けた訓練等に一層取り組んでいく旨、説明があった。

(9) 追加報告

令和6年能登半島地震に伴う取材対応について

警務部長から、令和6年能登半島地震で被災地での救助やパトロールに当たった7名の警察官に対する取材があり新聞で報道された旨、報告があった。

今後、被災地での活動を通じて得た知見を取りまとめの上、様々な警察活動に活用していく旨、説明があった。

(10) 監察案件

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

2 個別決裁

(1) 令和6年能登半島地震に伴う「特別生活安全部隊」の派遣について

生活安全企画課担当補佐から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(2) 令和6年能登半島地震に伴う「特別自動車警ら部隊」の派遣について

地域課担当補佐から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(3) 令和6年能登半島地震に伴う「防犯カメラ設置部隊」の派遣について

刑事企画課捜査支援分析センター所長から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(4) 令和6年能登半島地震に伴う「広域緊急援助隊（交通部）」の派遣について

交通指導課長から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(5) 公安委員会宛て苦情について（受理1件、処理2件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理1件の報告があり、処理方針を決定した。また、過日受理した公安委員会宛の苦情申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

3 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、18件の行政処分を審議した。

4 個別報告

(1) ミニ広報紙コンクール審査

地域指導官の説明のもと、ミニ広報紙コンクールの審査が行われた。

(2) 鹿児島県公安委員会の視察に伴う事前説明

サイバー企画課長から、2月8日に実施される鹿児島県公安委員によるサイバーセンター視察に伴い、当日の説明内容等について事前説明があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。